

2016年度ご支援報告 (2016年1月~12月)



ユニセフの「子どもにやさしい学校」モデルが全国の学校へ

ブルキナファソのすべての子どもが質の高い教育を受け修了できるように、ユニセフが推進してきた「子どもにやさしい学校」モデルがブルキナファソの教育省に採用され、全国の学校で導入されることが決定しました。「子どもにやさしい学校」では、女の子にも男の子にも安全で学びやすい環境を整えるとともに、子どもを中心に据えた参加型の教育方法を取り入れています。

日本の皆さまからのご寄付は、「子どもにやさしい学校」の基準を満たした学校作りのために、下記のような支援活動に大切に活用されています。ご支援に心より感謝申し上げますとともに、引き続きあたたかいご協力をお願い申し上げます。

支援活動

■ 教育環境の整った学校に子どもたちが通えるように、6つの小学校、3つの中学校、6つの幼稚園の校舎の建設、設備の提供を行いました。それに加えて、サヘル地方の152校の学校を対象に「子どもにやさしい学校」の基準を満たすことができるように、1,300台の机の提供、クラブ活動の設立支援、また、4,560人の地域住民への啓発活動を行いました。これらの支援により、26,834人(内12,716人は女の子)の子どもたちの教育環境が改善されました。



ユニセフの支援で設立された学校

■ ナメンテンガ州・ガンズルグ州の子ども5,000人、サヘル地方の子ども10,000人に太陽光発電式ライトを提供し、電気が通っていない地域に住む子どもたちが日没後も勉強できるようになりました。



太陽光発電式ライトを使って、日没後も子どもたちが一緒に勉強しています

■ 図書館や運動場、学校菜園などの教育環境を整備するために、本や本棚、スポーツ用具、菜園用の道具、衛生キットを50校に提供しました。

■ 「子どもにやさしい学校」モデルが適切に運用されるように、定期的な視察や、アドバイス、技術支援、教員研修(972人)を行いました。交通事情が悪いサヘル地方で学校を訪問して視察、アドバイスできるように、27台のバイクを提供しました。

■ 子どもたちがクラブ活動を通じて、身体的・知的・社会的な能力を伸ばし、ジェンダーの平等やリーダーシップを身につけることができるよう、70校の中学校を含む200校以上のクラブ活動の支援を行いました。

■ ナメンテンガ州・ガンズルグ州で学校を中退してしまった子ども498人が正規の学校に復学できるよう、勉強の遅れを取り戻す補修授業を受けられるように支援を行いました。



小学6年生の教室で休み時間に笑顔になる子どもたち